

四国銀行と皆さまを結ぶ情報誌

しぎん Report

Just Like Family!

2017年9月期

ミニディスクロージャー誌

第204期中間 営業のご報告



高知の
うまいもんを
全国へ



おかげさまで
徳島1世紀



四国銀行

ベスト リライアブル・バンクの実現に向けてダイナミックな進化を続けます。

詳細は次ページへ →

皆さまには、平素より四国銀行グループに格別のご支援、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

昨年春に紙面を一新しましたミニディスクロージャー誌『しぎん Report』も今回で4回目の発刊となりました。本冊子も当行ならびにグループ各社に対するご理解を一層深めていただくために、私どもの最近のトピックやさまざまな取り組みについてご紹介しておりますので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

さて、国内景気は、企業業績の改善が続いており、現在の景気拡大局面が「いざなぎ景気」を超え戦後2番目の長さとなることが確実となるなど、明るい見方が広がりつつあります。一方、地方においては未だ景気拡大の実感は乏しく、少子高齢化を背景とした人口減少社会が到来している状況も踏まえれば、企業の成長戦略や個人の資産形成など将来に向けたプランが描きづらい環境にあるといえます。

そうした中、当行は中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ2 ダイナミックな進化」のビジョンである「真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク」の実現に向けて、コンサルティング機能を十分に発揮し、お客さま本位の、質の高い金融サービスの提供を軸においた業務運営の徹底に取り組んでおります。

「ビジョンの実現に向けて、目指す銀行像やお客さまへの感謝の気持ちといった私の思いを伝えるため、従業員へ「頭取メッセージ」の配信を始めました。」

また、本年度からは、当行、阿波銀行、百十四銀行および伊予銀行による包括提携「四国アライアンス」の活動が本格化し、四国の創生を応援する投資信託や保険の新商品のラインアップ、地域企業の上場支援に向けた東京証券取引所との提携など、具体的な取り組みをスタートさせました。今後も4行それぞれの強みやノウハウを結集することで地域の魅力を高め、地域・お客さまとともに成長・発展していけるよう活動を深化させてまいります。

当行は、こうした取り組みを通じまして、お客さまの幅広い金融ニーズにお応えするとともに地域経済の持続的な発展に貢献し、お客さまの課題の解決や地方の創生につなげていきたいと考えております。

2017年11月1日、当行は徳島の地に初めて支店を開設し100周年を迎えることができました。

「このように永きに亘り営業を継続できましたのも、ひとえに皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。」

現在徳島県には当行の店舗が23カ店あり、それぞれの地域で、多くのお客さまにご愛顧いただいております。地域の皆さまに寄り添い、次の「1世紀」も力強く歩んでまいります。

これからも四国銀行グループの役職員一同、一層の努力を重ねてまいります。引き続きご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

取締役頭取 **山元 文明**



徳島県に初めて支店を開設してから1世紀。次頁よりその歴史をご紹介します。



行内グループウェアで従業員に毎週発信しています！



頭取自ら従業員に向けたメッセージを行内グループウェアで発信中！その様子が、金融総合専門誌「ニッキン」で紹介されました。

CONTENTS

- P1-2 トップメッセージ
- P3-4 徳島で1世紀
- P5-6 「かん高知」幕末維新博 安芸・室戸エリア
- P7-8 四国アライアンス NEWS
- P9-10 地域活性化への取り組み①
- P11 地域活性化への取り組み②
- P12 地域活性化への取り組み③
- P13 財務ハイライト
- P14 株主の皆さまへ



祝

おかげさまで

徳島で1世紀



(徳島営業部)



(徳島中央市場支店)



(マリンピア支店)



(渭北支店)



(渭東支店)



(徳島中央支店)



(徳島西支店)



(国府支店)



(川内支店)



(小松島支店)



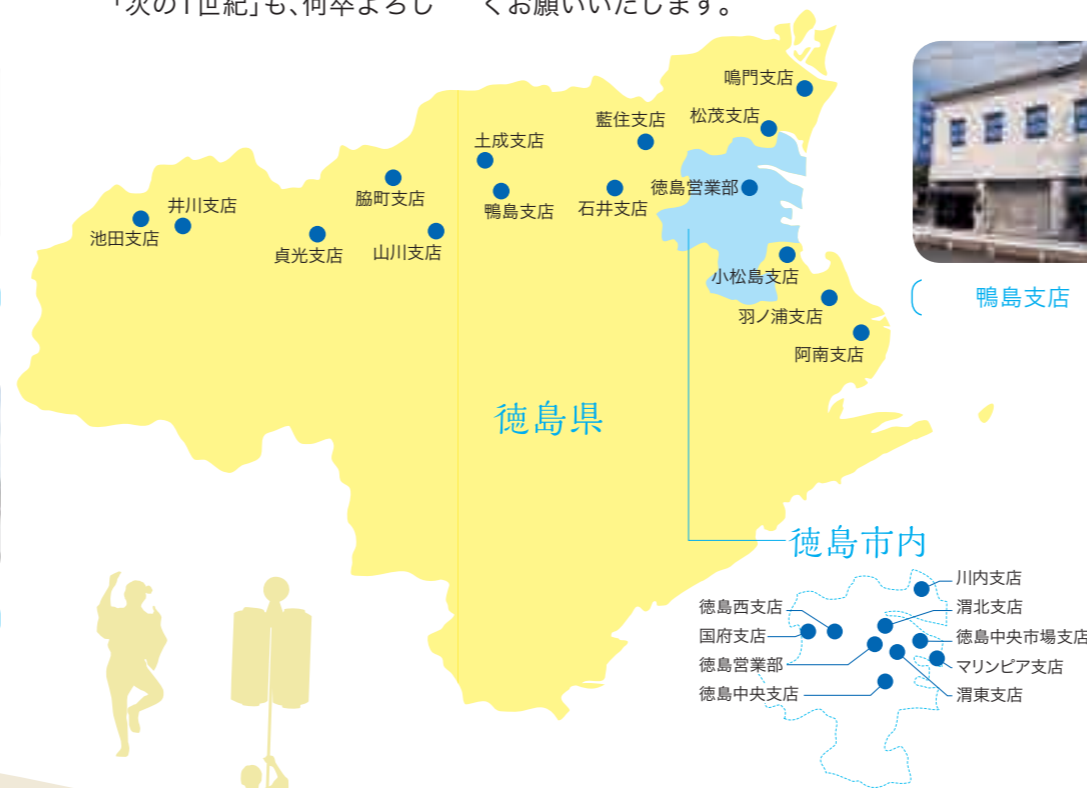
(阿南支店)



(羽ノ浦支店)

1917年(大正6年)11月1日、四国銀行は徳島の地で初めて支店を開いたしま

日、四国銀行は徳島の地で初めて支店を開いたしま



(鳴門支店)



(松茂支店)



(藍住支店)



(石井支店)



(鴨島支店)



(土成支店)



(山川支店)



(藍住支店)



(貞光支店)



(井川支店)



(池田支店)



徳島支店～徳島営業部、100年の変遷

大正6年 高知銀行徳島支店として、徳島市西新町に徳島初の支店を開設。

大正12年 土佐銀行との合併により、四国銀行徳島支店に改称。



“船場の本店さん”として親しまれた旧徳島支店

大正15年 関西銀行との合併により、籠屋町の旧関西銀行本店を当行徳島支店として業務継承。この年、徳島県内の店舗数は22カ店となる。

昭和2年 徳島支店を東船場町に新築移転。



船場支店 (昭和53年)

昭和53年 旧幸町支店が現徳島営業部の場所に新築移転。その後、旧徳島支店を船場支店に、旧幸町支店を徳島支店に改称。 ※後に徳島支店は徳島営業部に改称、船場支店は平成15年に廃止。



徳島支店 (昭和53年)

平成29年 11月1日、徳島に初めて支店を開設し1世紀を迎える。



現在の徳島営業部

徳島100周年をお知らせする CM・ポスター等



CM



ポスター



新聞広告



① 中岡慎太郎像(北川村)

安芸郡北川村柏木494

室戸岬にある中岡慎太郎像とは趣が異なり、キリッとしたポーズが印象的。



② 中岡慎太郎館

0887-38-8600

安芸郡北川村柏木140

中岡慎太郎の生涯をドラマ仕立ての映像や展示で振り返る。薩長同盟締結と慎太郎の関わりがわかる手紙など貴重な資料も数多く展示。

③ 中岡記念館(中岡慎太郎生家)

0887-38-2413

安芸郡北川村柏木494

実際の中岡家の見取り図をもとに復元された慎太郎の生家。袴を着ての写真撮影体験もできる。



大政奉還から150年の平成29年に開幕。土佐が生んだ偉人ゆかりの地など、高知県内24の歴史文化施設などで貴重な歴史資料の展示を行います。

二部構成となっており、現在開催されている第一幕(平成29年3月4日～平成30年4月20日)では、メイン会場である「高知県立 高知城歴史博物館」のほか各地域会場で、高知のすばらしい歴史や自然、食を体感いただけます。

⑤ 岡御殿

0887-38-3385

安芸郡田野町2147-1

土佐藩主が東部巡視の際に本陣とした、田野の豪商・岡家の屋敷。この地から飛び出した数多くの志士たちの活躍を展示資料で紹介。



⑥ 安芸市立歴史民俗資料館

0887-34-3706

安芸市土居953-1

五藤家に伝わる武具・甲冑・美術工芸品を中心に、岩崎彌太郎に代表される安芸ゆかりの偉人の展示も充実。



中岡慎太郎

(1838年～1867年)

幕末・尊王攘夷派の志士で、陸援隊長。土佐国安芸郡北川郷(現・北川村)に大庄屋の長男として生まれた。父の跡を継ぐため勉学に励み、儒学をはじめ日本の歴史や海外情勢についても積極的に学ぶ。そして、のちに土佐勤王党のリーダーとなる武市半平太と出会い、弟子入りする。

文久元年(1861年)、武市が結成した土佐勤王党に加盟。しかし、同3年(1863年)8月18日に起こった政変により、尊王攘夷運動は衰退、土佐勤王党の弾圧が始まる。身の危険を感じた慎太郎は9月5日、土佐藩を脱藩し、長州へと向かう。長州に身を寄せた慎太郎は、三条実美の命令で、京都と長州を往復し、情報収集活動を行い、その情報を分析。その結果、徳川幕府にかわって新しい国家を作ることができるのは薩摩藩と長州藩であるという答えを見出す。当時対立関係にあった薩摩藩と長州藩であったが、土佐の同

士である坂本龍馬らと協力、そしてその努力が実り、慶応2年(1866年)1月、薩長同盟が成立。

慶応3年(1867年)7月27日に徳川幕府と戦争になった場合に備えると同時に、古いしきたりにとらわれ議論ばかりして行動の伴わない土佐藩の意識改革を促すため、西洋式軍隊である陸援隊を結成。薩摩藩が徳川幕府と戦争になった場合は薩摩藩に協力する約束(薩土討幕の密約)の仲介を行うなどする。しかし同3年11月15日、京都の近江屋で龍馬と会談中に刺客に襲われ重傷を負い、その2日後に亡くなる。

④ 中岡慎太郎像(室戸市)

室戸市室戸岬町

室戸岬の先端近くに太平洋を見据えるようにたっている。



観る・感じる・こころ飲む
かん高知

安芸・室戸エリア
～志国周遊編～

お龍(龍馬の妻)と君枝(お龍の妹)の像
柱の坂本龍馬像に向かって手を振っている。



⑦ 室戸世界ジオパークセンター

0887-23-1610

室戸市室戸岬町1810-2

室戸の大地の成り立ちをはじめ、そこで育まれた人々の暮らしや歴史、文化など、室戸世界ジオパークの魅力を紹介する。

⑧ 室戸岬

室戸市室戸岬町

海岸は奇岩が乱立し、亜熱帯性樹林や海岸植物が茂っている。1964年6月に室戸阿南海岸国定公園の指定を受け、2011年9月に世界ジオパークに認定。





四国アライアンス[※]では、今年4月に主要施策を公表して以降、様々な取組みを展開してきましたので、お知らせします。
 ※ 当行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行の4行による四国創生に向けた包括提携

四国アライアンスNEWS

四国アライアンスは、4行が独立経営のもと、健全な競争関係を維持しつつ、4行それぞれの強みやノウハウを結集、四国創生に向けた5つのテーマに取り組むことで、地域の魅力を高め、地域・お客さまと4行が持続的に成長・発展することを目的としています。

平成28年
11月
4行による
四国創生に向けた
包括提携締結
START

平成29年
4月
スタートアップ
キャンペーン開始
(4月6日～5月31日)



銀行での
保険向上に向けた
「ぎんほ」CM
放映開始



4行共同企画による
投資信託
「四国アライアンス
地域創生ファンド
(四国の未来)」[※]
販売開始

※ ポートフォリオの25%を
四国関連企業に投資



「上海ビジネス交流会」開催
(4行合計120社150名のお客さまが参加)



7月

四国新幹線
導入に向けた
4行シンクタンク
による
共同調査開始

「いよぎん証券」
との提携

4行での
「ビジネスマッチング」
運用開始

8月

有価証券の
共同運用開始

4行共同企画による
保険商品「四国の絆」販売開始



9月



「志国高知 幕末維新博 (第一幕)」との
連携施策展開

10月

株式会社東京証券取引所との
地域経済活性化に資する連携協定を締結



森林保全活動への
相互参加



四国アライアンスでは、今後も4行が連携して四国全域の活性化や創生に取り組むことで、各地域およびお客さまの持続的な成長・発展に貢献していきます。

クラウドファンディングを活用



Case1# 土佐三原どぶろく合同会社
**秘境の「どぶろく」で
 村の未来を救え！
 農家の女将7人の挑戦**



資金で
デザインを
一新！



三原

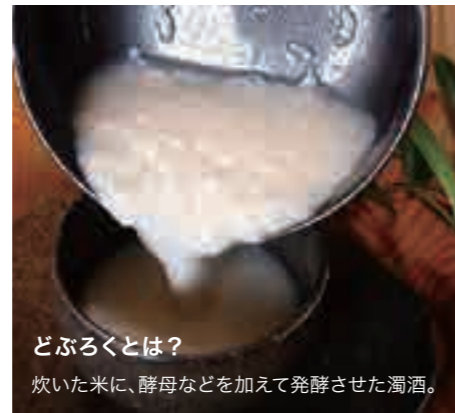
本プロジェクトでは、過疎化が進む高知県三原村で地元のどぶろくを通じて、地域の活性化を図ることを目的としました。三原村は、平成16年に国から「どぶろく特区」の認定を受け、7軒の農家が「どぶろく」による村おこしに取り組んでいます。調達した資金も活用し、瓶やラベルデザインを一新。「三原村のどぶろく」の魅力により多くの日本酒ファンに伝えるなど、ブランド力の向上を図っています。

実行者のコメント

土佐三原どぶろく合同会社 代表 津野壽美子様



過疎化が進む村をどぶろくで再興したい。何より秘境・三原村で造るどぶろくを全国の日本酒ファンの方に飲んでいただきたいという思いで挑戦しました。募集金額50万円のところ、88万5千円の支援で目標を達成いたしました。



どぶろくとは？
 炊いた米に、酵母などを加えて発酵させた濁酒。



当行では、中期経営計画に「地方創生への取組み加速」を掲げ、クラウドファンディングを活用した「地産外商」の支援に積極的に取り組んでいます。地域資源を活用した商品・サービスを提供する事業者さまの取組みを応援し、その魅力を全国にお伝えします。

クラウドファンディングとは？
 インターネット上で一般の個人投資家（消費者）から資金を集める仕組み。事業資金の調達のほか、事業者および商品PR等が行えることにより、ファンづくりや販路拡大に繋がる効果があります。



Case2# 有限会社はたやま夢楽

**高知土佐ジローの宿の挑戦！
 限界集落の温泉改修で
 次代に繋げたい**

安芸

集落の存続を図るために、高知県安芸市畑山の宿泊施設「はたやま憩の家」の温泉を改修した取組み。本件は、Readyforが取扱った案件の中でも珍しく、市の施設の改修費用を指定管理者である民間企業が資金を集めるプロジェクトとなりました。現地で唯一のコミュニティの場である施設の運営を維持し、名物の土佐ジローだけでなく、畑山の魅力を多くの方々に伝えることができました。

土佐ジローとは？

「土佐地鶏」と「ロードアイランドレッド」を交配させ、高知県が商標登録した品種。

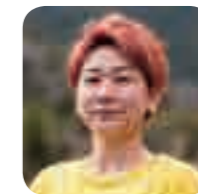


温泉改修により、施設運営を維持。
 (平成29年10月時点改修中)



実行者のコメント

有限会社はたやま夢楽 代表取締役社長 小松圭子様



指定管理施設の改修費を捻出する方法を検討していた時に、四国銀行さんから話をいただきました。募集金額30万円に対して、234万6千円の支援が集まり、応援して下さる方たちの想いを形として受け取ることができました。

当行は、「誰もがやりたいことを実現できる世の中をつくる」を実践しているREADYFOR株式会社(サービス名:Readyfor)と提携し、事業者さまを応援しています。

7 新商品・サービスの提供

クラウドファンディング運営事業者



業務提携



四国銀行

「ストーリーに共感」「地域を支援」「商品に興味あり」

資金提供者 (サポーター)

事業者 (お客さま)

「商品が売れるかどうか知りたい」「新しい商品を作りたい」「地域と連携した事業展開をしたい」「新しい事業に挑戦したい」「応援者・支援者を募集したい」

6 手数料

5 資金

3 プロジェクトの
打ち合わせ

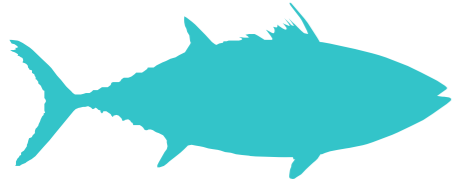
2 紹介

1 相談

4 事業・商品 PR

地域活性化への取組み②

「しぎん地域活性化ファンド」を活用



Case1# 株式会社高知水産

クロマグロの完全養殖の実現による高知県経済の活性化

宿毛 高知県は、養殖クロマグロ出荷量で全国3位を誇る日本でも有数の産地。しかしながら、近年、天然クロマグロ稚魚の資源量の減少が危惧されており、漁獲制限も実施されることから、高知県は株式会社山崎技研と共同で3年前から人工種苗*の研究開発に取り組んできました。研究は順調に進み人工種苗の量産化に一定の目処がついたことから、今般、株式会社山崎技研は株式会社ヒワサキと共同で新会社を設立し、人工クロマグロ稚魚の中間育成事業を開始するに至りました。当ファンドからの資金を活用し、将来的に高知県内の養殖業者と連携したクロマグロの完全養殖の実現を目指しています。

* 養殖または漁獲された親から人工的に孵化、育成した稚魚などのこと。



人工種苗育成現場

しぎん地域活性化ファンド

本ファンドは、起業・新事業展開等を目指す事業者に対して成長マネーを供給することにより、地域資源の活用、雇用の維持・拡大、地産外商の取組み等を支援し、地域活性化を図ることを目的としています。

名称	しぎん地域活性化投資事業有限責任組合
ファンド金額	5億円
設立日	平成29年1月24日
組合員構成	有限責任組合員：株式会社四国銀行 無限責任組合員：株式会社四銀地域経済研究所
存続期間	約10年（平成29年1月24日～平成38年12月31日）
投資形態	株式出資、社債引受など
投資対象	当行が営業基盤を有する地域において、起業・新事業展開等を目指す事業者であって、地域資源の活用、地域の雇用確保などを通じて、地域活性化の取組みに資する事業
投資額	1件あたり原則500万円以上
ファンド運営会社	株式会社四銀地域経済研究所

Case2# 株式会社ワールドワン

高知県幡多地域の食材を使用した地域活性化



高知店オープン時

幡多地域

当社は平成27年5月に高知県土佐清水市と食材提供や観光PRにかかる連携協定を締結。平成29年2月には幡多地域6市町村とアンテナショップ活用に関する連携協定を締結し、地元生産者と一体となった地域資源の発掘や商品化を通じて、一次産業の活性化、地産外商の推進を図っています。

平成27年6月には神戸市内に「土佐清水ワールド」1号店を出店。平成29年10月現在、神戸市内に「土佐清水ワールド」を4店舗、東京都にも1店舗出店、また、神戸市内、東京都、高知市内に「幡多バル」を1店舗ずつ出店し、高知の食材のPRを行っています。



清水サバのカルパッチョ



地域活性化への取組み③

お客さまの飛躍を目指して

～高知県で唯一のヤギ牧場～

当行では、高知県内で唯一、日本でも数少ない「ヤギミルク」の生産牧場である川添ヤギ牧場の飛躍を目指して、各種サポートを行いました。

高知川添ヤギ牧場情報

所在地：高知県南国市大桶乙97-3
 連絡等：Facebookで「川添ヤギ牧場」と検索
 ※注意 衛生管理上、牧場見学等は行っていません。
 商品について：当牧場が生産するヤギミルクは「ひまわり乳業」さまよりご購入いただけます。
 (https://yagimilk.himawarimilk.co.jp)



ヤギミルク うめえ～



川添ヤギ牧場は「ヤギミルクを高知県の特産品とすることを目標とし、平成32年までに「日本一のヤギミルク生産牧場」となることを目指しています。

南国

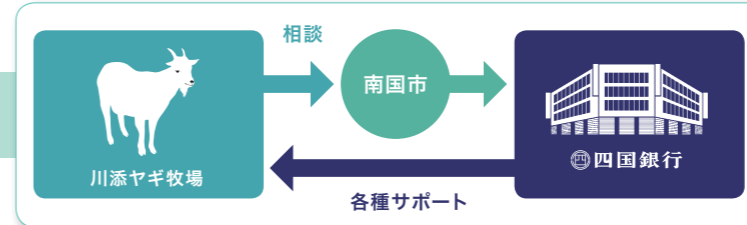
川添ヤギ牧場では、地域の休耕地を活用した飼料の生産を行い、南国・高知の温暖な気候を活かした「100%自給飼料」を使用するなど、環境に優しい循環型生産を実現しています。一年を通じて常に新鮮な牧草を与え、育て方や畜舎の環境整備にも余念がありません。生産者の愛情が注がれたヤギミルクは、「独特の臭いがある」という従来の固定概念を覆す、あっさりとしたほのかな甘みが特長です。

しかしながら、ヤギミルクは春から秋までしか製造できないため国内流通量は少なく、また、その認知度も高くはありません。

そこで、飼育頭数の拡大を図るための畜舎拡張について高知県、南国市に相談したことを受け、当行南国支店および法人サポート部では各種サポートを行ってまいりました。

平成29年5月、新畜舎が完成し、ヤギの飼育頭数は70頭から130頭となりました。

飛躍を目指して



オーナーコメント

沢山の方に恵まれ、助けられながらヤギを飼育できている。様々なタイミングが重なって今があると感じているので、そのご縁を大切に、より良い製品を作っていきたい。

新畜舎完成



飼育頭数 70頭 ▶ 130頭

ヤギミルク成分

ヤギミルクには、中鎖脂肪酸が多く含まれています。母乳にも多く含まれる中鎖脂肪酸は、早く消化されるので、短時間でエネルギーになることが特徴で、中鎖脂肪酸を多く含むヤギミルクは少量でも健康維持に効果的と言われています。

成分	無脂乳固形分 7.5%以上、脂肪分 2.5%以上	
栄養成分	単位	100ml
	カロリー	52kcal
	たんぱく質	2.5g
	脂質	3.1g
	炭水化物	3.6g
	ナトリウム	28mg
	カルシウム	96mg



財務ハイライト

平成29年度中間期の実質業務純益は、資金利益は増加しましたが、役員取引等利益やその他業務利益の減少等により、前年同期比0億円（51百万円）減少の46億円となりました。

経常利益は、実質業務純益は減少しましたが、実質与信関係費用の減少等により、前年同期比17億円増加の70億円、中間純利益は、前年同期比7億円増加の42億円となりました。

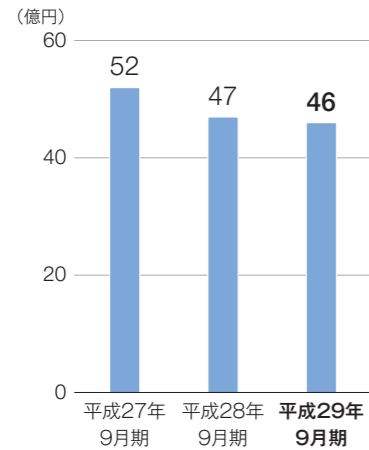
預金等残高は、個人預金、法人預金及び地方公共団体預金がそれぞれ増加し、前年同期末比1,031億円増加の2兆7,414億円となりました。貸出金は、個人向け貸出金と中小企業向け貸出金の増加により、前年同期末比355億円増加の1兆6,628億円となりました。

自己資本比率は9.88%であり、国内基準の4.0%を大きく上回っております。

<単体情報>

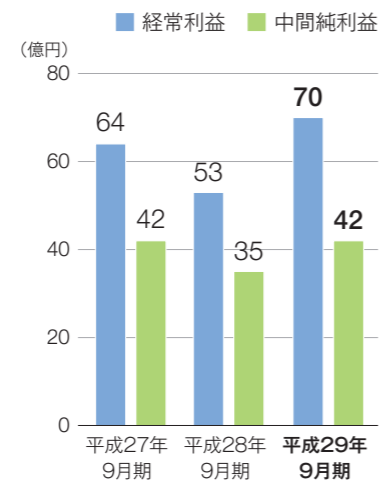
■実質業務純益

46億円



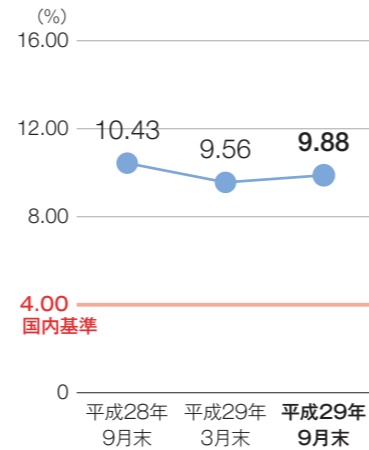
■経常利益／中間純利益

70億円／42億円



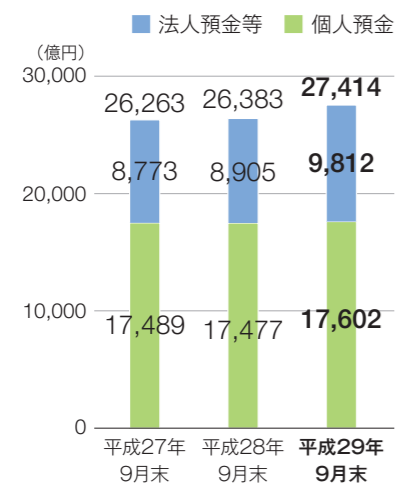
■自己資本比率

9.88%



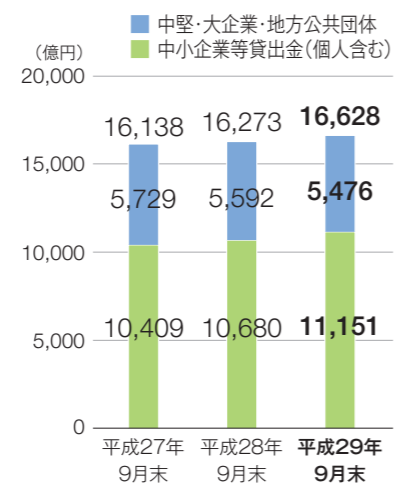
■預金等残高（譲渡性預金含む）

2兆7,414億円



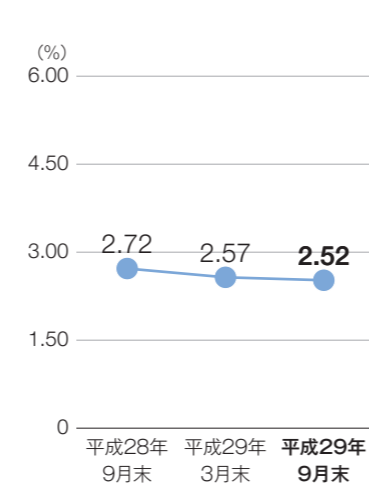
■貸出金残高

1兆6,628億円



■不良債権比率

2.52%



株主の皆さまへ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間といたします。
配当のお支払	期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。
公告方法（電子公告）	当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	<ul style="list-style-type: none"> ●みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 ●みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

当行は、平成29年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、5株を1株に株式併合いたしました。これに伴い、平成30年度から株主優待制度の内容を下記のとおり一部変更いたします。
※保有株式数の基準引下げにより、株主優待の対象となる株主さまの範囲が拡大します。

株主の皆さまに 感謝をこめて

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えしたい。
当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当行株式を保有していただきたい。
そういった想いから、当行では株主優待制度を実施しております。

平成30年度は、平成30年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式を100株（1単元）以上保有される株主さまを対象とさせていただきます。

100株以上1,000株未満の株式を保有される株主さま

コンビニエンスストア等でご利用いただける全国共通の商品券「クオカード」を贈呈いたします。

- 100株以上200株未満：500円分(平成30年度から新たに追加)
- 200株以上1,000株未満：1,500円分

1,000株以上の株式を保有される株主さま

地元の特産品を中心に掲載しました専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

- 1,000株以上2,000株未満：3,000円相当 ●2,000株以上：6,000円相当



未来の自分のために。 つみたてNISA

平成30年
1月スタート!
(平成29年10月より
店頭申込受付中)



「つみたてNISA」は、お客さまの「将来にむけた資産づくり」を応援する制度です。
当行では、初めての方でもご利用いただきやすい商品を取りそろえております。

活用ポイント 1

非課税期間(20年)
を有効活用

- 信託期間が短い商品は対象外
- 毎月分配金が支払われる商品は対象外

活用ポイント 2

わかりやすい商品で、
費用負担が少ない

- 複雑な商品は対象外
- 運用時にかかる費用が高い商品は対象外

活用ポイント 3

年間40万円(最大800万円)
まで非課税

まとまった大きな金額の
投資ではなく、無理せず少
額からはじめられる

活用ポイント 4

積み立てた分は、
いつでも引き出し可能

引き出しに制限がないので、
急にお金が必要なおきなど
も安心

【投資信託についての留意点】

●投資信託は預金とは異なり預金保険の対象ではありません。●投資信託は値動きのある有価証券等に投資します。従って、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む可能性があります。●投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客さまに帰属します。●投資信託は、ご購入時、保有期間中、換金時に各種の手数料等がかかります。<例：お申込手数料(お申込代金の最大3.24%[税込])+信託報酬(総資産額に対し最大年率2.376%[税込])+信託財産留保額(換金時の基準価額の最大0.5%)>またその他の費用として、信託事務に係る諸費用、監査費用、有価証券の手数料等をご負担いただきます。これら手数料・費用等の合計額については、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。●投資信託のご検討に際しては、必ず「契約締結前交付書面」により商品内容をご確認の上、ご自身で判断ください。「契約締結前交付書面」は四国銀行の本支店にご用意しております。インターネット投資信託では、「契約締結前交付書面」をPDFファイルで電子交付しております。

【NISA制度についての留意点】

●NISA制度は、すべての金融機関を通じて、同一年において1人1口座に限り開設することができます。(金融機関を変更した場合を除く) ●NISA口座とつみたてNISA口座は、日本にお住いの20歳以上の個人が開設できますが、同一年に両方の開設はできません。原則として年単位での選択制となります。●現在、特定口座や一般口座で保有されている投資信託等は、NISA制度の口座へ移管することはできません。●NISA制度の口座で発生した損益は税務上ないものとされ、他の口座との損益通算はできません。損失の繰越控除もできません。●NISA制度の口座でご利用いただいている投資信託等を解約された場合、一度利用した非課税枠は再利用できません。また非課税枠の残額を、翌年に降に繰越すことはできません。●NISA制度の口座でご利用の投資信託から発生した収益分配金を再投資する場合も、非課税枠を利用しますので、非課税枠の残額は減少します。●投資信託の分配金のうち元本払戻金(特別分配金)は本来より非課税であり、NISA制度のメリットを享受できません。●NISA制度の口座開設には、当行で「投資信託 振替決済口座」の開設が必要になります。

【つみたてNISA特有の留意点】

●つみたてNISAは、つみたてNISAに係る積立契約(累積投資契約)の締結が必要で、同契約に基づき定期かつ継続的な方法による買付けに限定されます。●つみたてNISAでは、ETFも対象となりますが、当行では株式投資信託のみのご利用となります。●当行のつみたてNISAの対象商品は、店頭および当行ホームページ等でご確認ください。●つみたてNISAは、NISAと異なりロールオーバーができません。●つみたてNISAで買付けた投資信託の信託報酬等の概算値を、原則として年1回通知いたします。●基準経過日におけるつみたてNISA口座開設者の氏名・住所を確認させていただきます。定められた期間内に確認できない場合は、つみたてNISAの買付けができなくなります。(基準経過日とは、つみたてNISAを設けた日から10年を経過した日および同日の翌日以後5年を経過した日ごとの日をいいます。)

詳しくは、店頭または当行ホームページにてご確認ください。

 四国銀行

発行: 平成29年11月 株式会社四国銀行 総合企画部
〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL. (088)823-2111
<http://www.shikokubank.co.jp/>

検索 四国銀行 

商号等: 株式会社 四国銀行(登録金融機関)
登録番号: 四国財務局(登金)第3号
加入協会: 日本証券業協会

当冊子は、四国銀行の事業活動に関する情報提供を目的としたもので、金融商品取引契約等の締結および締結の勧誘を目的とするものではありません。